

令和3年度

事業計画

社会福祉法人 成田市社会福祉協議会

令和3年度成田市社会福祉協議会事業計画

基本方針

令和2年1月より広まった新型コロナウイルス感染症は、市民生活・社会経済活動の停滞など日常生活に様々な影響を及ぼしました。ようやく医療従事者に対するワクチン接種は始まったものの、依然として終息期は見通せません。

成田市においても外国人を含む多くの人たちの雇用や収入に影響を及ぼし、3月25日から急遽開始された「新型コロナウイルス感染症対応に伴う緊急小口資金・総合支援資金等の特例貸付」事業において、本会は受付窓口として7千件を超える相談に対応し、4千件を超える申請書類を受付け、貸付申請額は12億円に達しました。

地区社会福祉協議会が中心となり開催している敬老会やふれあいサロンをはじめ、民生委員児童委員やボランティアによる地域福祉活動も自粛あるいは中止となり、本会活動を支える会員の皆様からのご支援や赤い羽根共同募金運動へのご理解とご協力も伸び悩みました。このまま社会生活上の活動制限や自粛が続けば、地域住民の生活は内向きに不活発となり、地域活動への参加意欲の減退につながり、また、感染により重症化リスクが高いとされる高齢者は外出を控え、人とのふれあいを避ける生活となり、障がいをおもちの方々も含め虚弱化や社会的孤立が深まることが危惧されます。

そのような中、令和3年度の本会は国や県から示されてきたコロナ禍での「新しい生活様式」に即した様々な地域活動に関するガイドラインを踏まえ、「地域共生社会」の実現に向けた地域づくりに資するべく「成田市地域福祉活動計画」に掲げた目標の達成に向けて活動し、多様な福祉ニーズに応えるため地域コミュニティづくり推進事業として、地域の特性を生かした地域福祉活動が展開できるよう、区や自治会、行政、福祉団体、ボランティアなど地域の皆様と話し合い協力しながら、災害時の対応も含め「できる活動」を模索し取り組んでまいります。

また、社会福祉法人として運営における透明性の確保とガバナンスの強化を行い、社会福祉の担い手としての役割や活動への理解を広めるとともに福祉サービスの向上に努めてまいります。

なお、「成田市地域福祉活動計画」は本年度が最終年にあたり、これまでの計画年度の事業実績を評価するとともに、令和3年度を計画初年度とする成田市の「総合保健福祉計画（地域福祉計画）」も踏まえ、地域福祉を支える包括的支援体制の整備に取り組むべく、令和4年度からの「新計画」を策定してまいります。

重点目標

- 広報・ホームページを中心に、フェイスブックなどあらゆる手段を講じて、情報発信の充実を図るとともに、法人運営の透明性を確保します。また、健康福祉まつりなどへのイベント参加を通じて、本会の周知と地域福祉の啓発に取り組み、社会福祉大会や福祉作品コンクール、福祉教育などの推進により、市民への福祉意識の浸透を図ります。
- 市民の方々からの寄付金等は重要な福祉財源となることから、活動支援や公正な配分を通し、地域福祉の推進に役立てます。
- 住民福祉の拠点として市民に利用してもらえるよう、成田市保健福祉館の運営、管理を行います。
- 善意銀行事業の福祉金庫では、相談窓口体制を充実させ、相談者及びその世帯の経済的自立促進を図ります。また、貸付金の管理及び債権処理を引き続き適正に行います。
- 地区社協との連携を密に行い、コロナ禍における地域福祉活動の再開に向けた感染予防策等の情報提供を行うとともに、新たな活動を検討・実施するためのバックアップ・相談体制を確立します。また、地域包括支援センターが開催する地域ケア会議などに積極参加することで、地域の実情把握に努めます。
- 生きがいづくりや地域のコミュニティづくり、社会的孤立の防止のため、各種サロン事業を展開し、地域の交流の場を提供することで、地域に根差した活動を目指します。
- ボランティアセンターでは、感染予防を考慮しつつ、子育て支援や障がい者支援など様々なボランティア養成講座を開催し、地域福祉活動推進のための原動力となる人材発掘や育成に努めます。また、災害ボランティア養成講座やコロナ禍における情報発信、収集活動を含めた災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を実施し、災害時の支援の大きな力となるボランティアの育成に取り組みます。
- 移送サービス事業では、介護を必要とする方等の医療機関等への送迎が主な運行となるため、利用者の感染予防対策を含む安全を第一に考えるとともに、車内での気配りや思いやりに努め、常に適正な運行を心掛けます。
- 高齢者、障がい者世帯などが安心して生活できるよう、住民参加型サービス事業「成田おたすけ隊」の活性化を促します。具体的には、家事援助をより利用しやすくするために設けた短時間サービスと就学前幼児や乳児がいる世帯までのサービス対象拡大

を引き続き行うとともに、会員の増加にも努めます。

- なりたファミリー・サポート・センターでは、子育て世帯が安心して育児や仕事との両立ができるよう、会員や利用の拡大に努めます。利用会員には初めて活動を利用する際の事前学習を行い、協力会員には事故防止、安全を第一に運営するため各種講習会を実施します。活動を担う協力会員の増加にも注力していきます。
- 高齢者や障がい者の方々が安心して自立した地域生活を送るため、日常生活自立支援事業として、福祉サービスの利用援助や財産の管理及び財産保全サービスを適正に行い、対象世帯への支援に取り組みます。
- 生活困窮者自立支援事業においては、引き続き社会福祉法人大成会と事業共同体として相談種別を問わない総合的な支援体制づくりを推進します。また、過去の相談実績から、ひきこもる家族を抱えた世帯の困窮度が高いことを受け、ひきこもりの相談支援に力を入れて取り組みます。
- 生活支援コーディネーター業務においては、市内全域を担当する第1層生活支援コーディネーターとして各地域包括支援センターに配置された第2層生活支援コーディネーターと連携して地域の実情を把握し、支援体制の充実・強化を図ります。そのために、民間企業やNPO、ボランティアや地域住民などと連携し、「成田市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体」と協働しながら地域における高齢者支援の担い手や、高齢者の社会参加および生活支援・介護予防の仕組みづくりに取り組みます。
- 民生委員・児童委員が、研修会等に意欲的に参加することにより、個々の研鑽を積むことへの支援を行います。また、コロナ禍における訪問・相談活動を安心して行えるように、行政、地域包括支援センターと連携してサポート体制の向上に努めます。
- 平成27年度に策定した第3次地域福祉活動計画が令和3年度をもって終了することから、複雑・多様化する地域福祉の問題解決のため、地域包括支援センターや地区社協、ボランティア団体などにアンケート調査を実施し、成田市総合保健福祉計画との整合性を図った上で、令和4年度からの次期6ヵ年の地域福祉活動計画を策定します。

事業実施計画

事業	目的	主な実施事項
会の運営並びに連絡調整	会の運営と組織、財務、事業の審議並びに調整を図る。	<ol style="list-style-type: none"> 1 理事会及び評議員会の開催並びに監査の実施 2 関係機関、団体との連絡調整 3 役職員の研修
広報啓発事業	<p>社協で行っているサービスや事業を紹介、また市民に身近で関心のある内容をより多く掲載し、サービスを利用してもらえよう広報啓発活動を展開する。</p> <p>また、紙面を利用しPR及び収益事業を行う。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 「福祉なりた」の発行(5、7、10、1月) 2 ホームページでの事業紹介と最新情報への更新 3 福祉ちば等、各種福祉広報の配布 4 フェイスブックなどでの周知、最新情報への更新 5 有料広告を募集し、広報に掲載、収益を図る
会員募集事業	<p>市民等の社会福祉への総参加を目指し、社協事業への理解を深め、会員の増員を図る。</p> <p>安定した財源確保のため、社協事業を理解しやすいよう、社協パンフレット作成配布等広報活動により特別賛助会員等の拡大を図る。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 一般会員募集(区・自治会・町内会への働きかけ) 2 特別会員及び特別賛助会員の拡大のため、ダイレクトメールや広報紙掲載等、幅広い広報活動を行う。 3 特別会員及び特別賛助会員に会員証を発行
福祉団体助成事業	市内福祉団体の事業費の一部を助成することにより、連携を保ち、事業運営の向上を図ることで、社会福祉の増進に寄与する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 各団体との連絡調整 2 各団体への活動費助成金の交付
応急援護事業	早急に援護を必要とする市民を救済する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 災害見舞金の支給 2 行旅旅費の支給 3 無縁仏供養
遺族援護事業	戦没者遺族との連携と親睦を図る。	<ol style="list-style-type: none"> 1 戦没者追悼式への協力 2 慰霊塔護持会への支援
高齢者福祉事業	高齢者の長寿を祝い、豊かで生きがいのある老後を築くことに寄与する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 地区敬老会の共催 2 シルバーいきいき作品展の後援
障がい者福祉事業	心身障がい児・者の福祉増進と障がい児・者に対する正しい理解の普及に努める。	<ol style="list-style-type: none"> 1 障がい者スポーツ大会への助成 2 憩いのサロン・HIKIKOMORI ほっとサロンの開催 3 精神障がい者ピアサポーター養成講座の開催 4 夏休み子どもふれあいサロンの開催
児童福祉事業	児童の心身の健全育成に努める。	<ol style="list-style-type: none"> 1 子ども会等が実施する児童を対象とする行事に対して、経費の一部を助成 2 交通遺児激励見舞金及び勉学奨励金の交付、受験費用助成金の交付 3 子育て交流広場を開催
社会福祉大会事業	<p>福祉関係功労者及び福祉作品コンクール入賞者の顕彰を行う。</p> <p>福祉講演会を行い地域福祉活動の宣伝、普及を図る。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 市社会福祉大会の開催及び福祉関係功労者の顕彰 2 福祉作品コンクールの実施 3 県社会福祉大会への参加

事業	目的	主な実施事項
生活困窮者支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響で急増している生活に困窮している方への支援を目的に、子ども食堂や企業、農家、地域の支援者と連携し、年間を通じた地域内の食料等支援体制を構築する	1 食料寄贈の受付及びコーディネート 2 随時寄贈品配布の実施 3 困窮者支援情報リーフレットの作成及び配布
地域支え合いの場づくり事業	地域で孤立しがちな高齢者から子どもまでが集い交流を促進することを目的として、地域住民が主体となって集いや居場所づくりの立ち上げ、運営するための仕組みを、暮らしサポート成田や生活支援コーディネーターと協働し構築する。	1 集いの場(居場所)づくり講座の開催 2 地域支え合いフォーラムの開催 3 相談援助対話実践研修の開催 4 立ち上げ経費の一部助成 5 集いの場(居場所)づくりガイドラインの作成
共同募金事業への協力	社会福祉に関する市民の理解を深めると共に、たすけあい意識の高揚と市民の善意を結集し、募金活動が計画的に進められるよう協力する。	1 赤い羽根共同募金運動、歳末たすけあい募金に協力 2 歳末見舞金の配分
保健衛生事業との連携	保健衛生を目的とする事業との連携を密にし、市民の健康増進を図る。	1 講演会を健康づくり推進協議会と共催
生活福祉資金、臨時特例つなぎ資金貸付事業	低所得世帯、障がい者世帯の経済的自立と更生意欲の助長、促進を図り、また、失業者、日常生活全般に困難を抱える世帯に、生活の立て直しと自立を目的とした貸付事業を行う。 離職等に伴い住居を喪失した世帯が、公的給費、又は公的貸付が支給されるまでの生活費の貸付事業を行う。	1 生活立て直しのための相談支援 2 滞納者に対する督促、指導 3 担当民生委員児童委員との連絡調整 4 生活福祉資金貸付相談員の配置(1名) 5 生活困窮者自立支援法の自立相談支援事業、家計改善支援事業との連携
保健福祉館の管理	保健福祉館の管理業務受託	
心配ごと相談所の運営	日常生活上の悩みをもつ市民に対して、積極的に相談に応じ、個々の問題の解決又は関係機関に連絡斡旋を行い、それぞれの問題について適切な助言と指導を行う。	1 相談所の開設(1か所) 2 相談員の研修 3 アルコール依存相談所の開設
善意銀行事業	人々の善意の預託を受け、社会福祉金庫を設置して、自立更生に必要と認められる世帯に対して、資金の貸付を行う。	1 金銭、物品の口座を設け、これに関する預託、払い出し業務 2 資金の貸付、償還業務 3 社協募金箱の設置
地域コミュニティづくり推進事業	地域の住民が抱えている問題や悩みを地域の福祉課題としてとらえ、地域住民が互いに協力し合って解決を図ることを目的に、地区社協と連携を取りながら、その活動を推進する。 コロナ禍における地域福祉活動の在り方を考え、それぞれの地区にあった活動方法の検討を促す。	1 地区社協との連絡調整 2 地区社協への助成 3 ふれあいいきいきサロンへの協力 4 地域福祉フォーラム設置への支援 5 地区敬老会の共催 6 地域包括支援センター等が開催する地域ケア会議への積極的協力、参加

事業	目的	主な実施事項
ボランティアの育成及び活動促進	<p>ボランティアを育成するとともに、その活動を促進しコロナ禍における感染予防を踏まえた地域福祉活動の支援を図る。</p> <p>ボランティアセンターの常設により活動の利便強化を図る。</p> <p>災害ボランティアセンターの設置に関し、関係団体と協働し組織体制を整備する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 ボランティアの登録、斡旋、調整 2 ボランティア情報の提供 3 ボランティア養成講座の開催 4 ボランティア連絡協議会との連絡調整及び助成 5 ボランティアグループへの活動助成 6 広報紙「ぼかぼか」の発行 7 福祉体験器材の貸出し 8 古切手、プルタブ、エコキャップ等の収集協力 9 介護支援ボランティアの登録、活動管理 10 災害ボランティアセンター立上げ訓練の実施
移送サービス事業	<p>道路運送法第 78 条に規定する福祉有償運送事業として、介護保険の認定を受けた方、又は身体障害者手帳や療育手帳、精神保健福祉手帳を所持する方で、自宅からの移動が困難な方を対象に、医療機関等への送迎を行うことで福祉の増進を図る。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 移送用車両の安全・適正運行 2 利用会員の募集・調査 3 運転手の資質向上
独居高齢者ふれあい訪問等サービス事業	<p>一人暮らしの高齢者の孤独感を解消し、高齢者と地域社会との交流を深め、もって高齢者の生活を豊かで楽しいものとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 地区社協が中心となり、一人暮らしの高齢者で希望者に月 1 回給食等のサービスを実施
成田おたすけ隊事業	<p>在宅福祉の増進を本旨とし、相互扶助の精神を基調とした、家事・軽度の介護を主体とする在宅福祉サービスを適切低廉な料金で提供する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 利用会員及び協力会員募集 2 コーディネーターの設置 3 利用会員へサービス提供と協力会員の資質向上 4 研修会、交流会の開催 5 会報紙「おたすけ隊通信」の発行
なりたファミリー・サポート・センター事業	<p>地域において会員同士で子育てを支援する相互援助活動を行う。育児と仕事を両立し、安心して働ける環境をつくり、また子育て中の親の孤立化を防ぎ、不安や悩みを解消しながら、安心して子育てができるようにする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 利用会員及び協力会員募集 2 コーディネーターの設置 3 利用会員へサービス提供と協力会員の資質向上 4 入会説明会、基礎研修会、交流会の実施 5 子育て応援セミナーの開催 6 会報紙「ひよこ通信」の発行
日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助事業)	<p>高齢者や障がい者で、判断能力が不十分な人への預貯金の引き出しや、福祉サービスの利用を援助し、財産等の管理を代行する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 福祉サービスの利用援助 2 財産の管理 3 財産の保全
福祉教育の推進	<p>次世代を担う児童に思いやりのある福祉の心を育む。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 福祉体験学習の実施 2 福祉作品コンクールの実施

事業	目的	主な実施事項
福祉用具の貸出	市民への福祉用具の貸出しを行い、社会参加を促し、福祉の向上を図る。	1 広報紙等に事業を掲載し、利用を促す 2 車いす、白杖の貸出し
健康福祉まつりへの参加	成田市健康福祉まつりへ参加協力し、市民への社協事業の紹介及び、福祉の啓発に努める。	1 社協事業のパネル展示 2 ボランティアセンターによるイベントの開催 3 健康福祉まつり運営への協力
うなりくんグッズの販売	成田市観光キャラクターうなりくんの PR を行うとともに、グッズ販売の収益を福祉事業の資金とする。	1 保健福祉館でのうなりくんグッズの販売
自動販売機管理事業	福祉団体助成事業の財源確保のため、市内の公共施設に自動販売機を設置し管理を行う収益事業を実施する。	1 自動販売機設置に関する契約に伴う電気料金の請求及び売上金の受領
生活困窮者自立支援事業「暮らしサポート成田」の運営	様々な理由で生活に困っている方(世帯)に対して、就労や家計などの支援を包括的に行い、生活の安定と自立の促進を図る。 また、他者とのかわりが乏しく孤立している方が、社会的自立ができるよう、繋がりを増進する地域づくりを行う。	1 自立相談支援事業 2 就労準備支援事業 3 家計改善支援事業 4 支援調整会議の開催 5 社会資源の開発 6 ひきこもり家族会、法律と心の相談会の実施 7 ひきこもり講座の開催 8 出張相談会の開催 9 地域サポーターの活用
生活支援コーディネーター業務	高齢者のニーズと支援サービスのコーディネート機能を担い、サービスを提供する事業主体と連携して支援体制の充実・強化を図る必要があることから第2層生活支援コーディネーターと連携し、地域の実情を把握する。 地域毎に求められるサービスの傾向を把握し、個々の利用者からのニーズも取り入れながらサービス提供主体との連携体制づくりに取り組む。 地域に不足するサービスの開発や、サービスの担い手養成に取り組む。	1 第1層協議体への参加 2 ワークショップの開催 3 サービス提供主体との連携体制づくり 4 地域に不足するサービスの開発 5 サービスの担い手養成 6 生活支援サービスの充実
成田ふるさとまつりへの参加	成田ふるさとまつりで社協の活動をPR	1 啓発物資(ポケットティッシュ、パンフレット)の配布
「地域福祉活動計画」の策定	市の総合保健福祉計画と連携を図り、地域住民や、地域で福祉活動を行う各団体と協働し、その意見を十分に反映させた福祉サービスの推進を図るため令和4年度からの次期6ヵ年計画を策定する。	1 地域福祉活動計画策定委員会の開催 2 アンケート調査による情報収集